

# ホンダ鈴鹿 非正社員「ゼロ」

## 消える雇用 切実

### 契約延長が一転…

人員削減という「大波」が、ホンダの期間従業員に打ち寄せてきた。鈴鹿市の鈴鹿製作所で働く1760人が4月末でゼロになる。職を求めて全国から集まってきた従業員たちの先行きが見通せないばかりか、地域から大勢の人がいなくなる。地元の企業や商店から、苦境のつぶやきが聞かれる。

(信原一貴、佐野登)

九州出身の40代後半の期間従業員は妻を残し、単身で東海地方へ来た。好調な地域経済を引っ張っていた自動車産業の求人をあてにしたの決断だった。

九州では、40歳を超えた求職者に働き口はなかった。トヨタの九州工場で働こうと派遣会社に行ったこともあったが、「30歳以上は対象外です」。就職情報誌も探したが、中高年の求人ではこれといったものはなかった。

東海地方では、愛知県のとヨタで働いたこともある。ホンダの鈴鹿製作所に来たのは1年4カ月ほど前だ。ここでは売れ筋の小型車「フィット」や、2月に発売開始されるハイブリッド車「インサイト」を生産している。ほかのホンダの工場より忙しく、2交代制で仕事をした。

トヨタや日産が人員削減に踏み切る中、契約満了後が不安だった。昨年末、チームリーダーから「(期間契約の)延長をお願いします」と言われ、逆に「いいんですか」と聞き返したほどだった。それからわずか数日、「いつか言い渡される」と覚悟はしていたが、実際に告げられるとショックだった。同じ境遇の仲間たちは誰も表情を変えず、努めて明るく振舞っているように見えた。

## 地域沈んでしまおう／人減らし苦渋

「ホンダに元気がなくなる」と、地域全体が沈んでしまおうと、従業員寮の近くで約20年前から飲食店を営業している男性店主(55)は「この辺は、15年前は田んぼばかりだったが、商店や飲食店が急に増えた。この地域はホンダとともに発展してきたのに……」と肩を落す。

「深夜の来店は9割がホンダの期間従業員」と語る同製作所近くの中華料理店の店長(59)も「社員は車で帰るが、期間従業員は寮まで徒歩や自転車だから、地域の店を使ってくれる。商売への影響は本当に大きい」と表情を曇らせる。

「寮では私有車を敷地内に止められないため、周辺には期間従業員の利用を当て込んだ「月極駐車場」の看板があちこちに立つ。早くも解約の申し出があった

た。駐車場経営者の1人は「期間従業員15人に貸しているが、そのうちの1人が「契約更新されなかった」と、1月末での解約を申し入れてきた。これから、どんどんと続くと思う」と心配する。

関連企業の不安も大きい。ホンダ向けなどにバッテリーケースを製造している鈴鹿市内の社長(48)は「他のメーカー各社の工場でライン停止や人員削減が続いているが、新車種などを生産している鈴鹿だけは大丈夫だと信じていた。行き着くところまで来たという感じだ」と語る。

従業員寮や500軒ほど離れた鈴鹿製作所周辺には、大型スーパーやコンビニ、飲食店などが立ち並んでいる。

### 周辺の商店主・関連企業

同社では昨年10月と比べて、1月の売り上げは半分以下に落ち込むという。受注が減り、昨年11月からは週末に加えて金曜日も工場を止めている。約80人のパート従業員を約30人にまで減らした。

社長は「トップメーカーは冷たく人を切っているが、零細企業にとって、つながりの深い従業員を削減するのは苦渋の決断だ。大手が好転しないと、私も奈落からはい上がれない」と打ち明けた。

ホンダの従業員寮と、その周りには期間従業員の利用を見込んだ駐車場が並ぶ。鈴鹿市住吉町



ホンダの従業員寮と、その周りには期間従業員の利用を見込んだ駐車場が並ぶ。鈴鹿市住吉町